

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	都市計画係
■評価事業名称	景観形成等事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070400 - 003	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	02 美しい景観を守り、創り、育てる		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	景観法			
■関連計画の名称	北上市景観計画			
■事業の目的と概要	市民一人ひとりが愛着と誇りをもてる郷土を創るため、良好な景観の形成を推進する。市民の景観に対する意識を高め、地域の特性を生かした景観形成につなげていく。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	景観形成に関する事務	市民全般	<ul style="list-style-type: none"> ・きたかみ景観資産認定 5件 ・北上市景観賞(景観賞3件) ・ ・景観学習 4校(小学校2校、中学校2校) ・ ・景観人養成講座 1回 ・ ・北上市景観審議会 2回 ・ ・景観フォーラム 1回 ・ ・行為届出書等処理件数 150件 	<ul style="list-style-type: none"> ・きたかみ景観資産認定 4件 ・北上市景観賞(審査員特別賞1件) ・ ・景観学習 2校(小学校1校、中学校1校) ・ ・景観人養成講座 1回 ・ ・北上市景観審議会 2回 ・ ・景観フォーラム 1回 ・ ・行為届出書等処理件数 143件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	1,417	1,396	1,134	1,167	
人件費	10,228	10,382	5,573	7,447	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,645	11,778	6,707	8,614	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	きたかみ景観資産認定数(総数)	7件 <input checked="" type="checkbox"/> 1件)	10件 <input type="checkbox"/> 01件)	1件 <input type="checkbox"/> 02件)	4件 <input type="checkbox"/> 06件)	地域資源を守り・つくり・育てる活動に対して認定
02	景観学習の実施校数(年間回数)	3校	4校	3校	2校	市内の小中学校で景観学習を実施した。
03	景観法に基づく届出制度	0件	0件	0件	0件	不適合行為の勧告・変更命令件数
04	北上市景観賞		6件 <input type="checkbox"/> 特別賞1件)	2件 <input type="checkbox"/> 特別賞1件)	0件 <input type="checkbox"/> 特別賞1件)	良好な景観づくりに貢献している建築物等を表彰

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

きたかみ景観資産認定や景観学習などの推進事業については、概ね順調に事業展開している。

問題点・課題等

きたかみ景観資産に伴う持続的な地域活動を支える取り組みが必要。届出制度をより幅広く周知する必要がある。北上市景観賞の応募数が減少している。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 事業の見直し方策

平成28年度に北上市景観計画の見直しを実施。現状の課題を修正し、より市民にわかりやすく、景観形成に取り組みやすい内容を目標に修正を行う。

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了